2021

令和3年度 教育委員会点検・評価報告書

【令和2年度事業対象】

令和3年12月 神栖市教育委員会

はじめに

「教育基本法」及び「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部 改正により、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価の制度化に 関する事項が設けられました。

これにより、全ての教育委員会では毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

この改正を受け、神栖市教育委員会は平成20年度から、教育長に委任した事務も含めて、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに、市のホームページ等で市民へ公表をしてまいりました。

今年度は、令和2年度に実施した「第2期神栖市教育振興基本計画」の「69の施策」のうち、15の施策における主な取組内容について、神栖市教育委員会として自己点検・自己評価を行い、神栖市教育委員会評価委員会からのご意見をいただきました。

神栖市教育委員会では、この点検・評価の結果を踏まえながら、今後も神 栖市の教育目標の達成に向け、効果的で充実した教育行政の推進を図ってま いります。

また,市民の皆様にこの報告書をご覧いただき,市に対するご意見をお寄せいただくことで,よりよい教育の実現を目指してまいりたいと考えております。

令和3年12月

神栖市教育委員会

神栖市教育目標

- 1 じょうぶな身体と、たくましい心をもつ人間性豊かなひとづくり
- 2 知恵と技をもち、未来をひらく向上心みなぎるひとづくり
- 3 郷土を愛し、協力しあい、活力あぶれるやすらぎのまちを創造するひとづくり

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	第2期神栖市	市教育振興基本計画について・・・・・・・・・・ 1
П	教育委員会点	点検・評価の概要・・・・・・・・・・・・・ 3
Ш	教育委員会0	D活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
IV	主要事業の点	気検・評価結果
	第2期神栖市	b教育振興基本計画における施策一覧・・・・・・・・・ 7
	施策1	幼児の主体的な活動に配慮した教育環境の充実・・・・・・10
	施策5	開かれた幼稚園経営・・・・・・・・・・・・・・13
	施策14	心の教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・15
	施策16	学校給食の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 &
	施策19	学習活動の推進・・・・・・・・・・・・・・ 17
	施策24	個に応じた指導方法の工夫・・・・・・・・・・・・18
	施策27	神栖市教育振興基本計画の総合的な推進・・・・・・・・2 (
	施策28	教育委員会事業点検・評価の推進・・・・・・・・・ 2 1
	施策29	情報教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・22
	施策41	子ども会活動の育成・・・・・・・・・・・・・24
	施策53	学校図書館支援・・・・・・・・・・・・・・・・25
	施策55	使いやすい運営と専門的なサービスの提供・・・・・・・2 6
	施策61	芸術・文化施設の整備充実・・・・・・・・・・・・27
	施策63	文化財調査・保護活動の推進・・・・・・・・・・・29
	施策66	指導者の人材確保・育成・・・・・・・・・・・・31

第2期神柄市教育振興基本計画について

神栖市教育委員会では、今後5年間を見通して目指すべき教育の姿として、3つの基本目標を設定し、市民みんなで育む「かみす元気っ子」の育成など特色ある教育活動を通して、教育行政を推進します。教育振興のための基本的な計画として、平成30年12月に「第2期神栖市教育振興基本計画」を策定し、この計画に基づき施策を展開しております。

《神柄市教育日標》

- 1 じょうぶな身体と、たくましい心をもつ人間性豊かなひとづくり
- 2 知恵と技をもち、未来をひらく向上心みなぎるひとづくり
- 3 郷土を愛し、協力しあい、活力あふれるやすらぎのまちを創造するひとづくり

《基本テーマ》

豊かな人間性と 創造性を備えた 未来につなげるひとづくり

基本目標1 生きる力と確かな学力の育成

確かな学力を身に付けさせるために、基礎的・基本的な知識と技能を習得し、規範意識をもって主体的に行動する、心豊かで健康的な子どもを育てる教育を推進します。また、障がいがあっても自分に合った学習環境で着実に学び、成長できる仕組みを整備しつつ、一人ひとりの多様性について理解し、互いを尊重する共生の心や国際性・郷土愛を身につけた「かみす元気っ子」を育みます。

基本目標2 学びを支える教育環境の整備

児童生徒が安全で安心な学校生活を送れるよう、学校施設の維持管理を計画的に行うとともに、教職員の資質向上のため研修体制を改善充実させ、教職員が「かみす元気っ子」と向き合い、成長を十分にサポートできる体制づくりに努めます。また、特色ある教育活動や地域に根ざした開かれた学校づくりを推進し、より良い教育環境の整備に努めます。

基本目標3 地域社会と連携した教育の推進

家庭の教育力向上のための支援や地域一体となって「かみす元気っ子」を育てるための環境づくりを推進します。また、様々な社会教育・文化芸術の振興、スポーツの推進を通じて、子どもから大人までいつでも学び、成長する元気な神栖市民を目指します。

基本テーマ

豊かな人間性と 創造性を備えた 未来につなげるひとづくり



基本目標1 生きる力と確かな学力の育成

	1 - 1	幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実
幼児教育	1 - 2	子育て支援を図る幼児教育相談の充実
初沙山秋月	1 - 3	地域や保護者に開かれた幼稚園経営の推進
	1 - 4	保育所(園)・幼稚園・小学校の連携の強化や接続の促進
	2 - 1	確かな学力を身に付ける教育の推進
	2 - 2	豊かな心とたくましい身体を育む教育の推進
学校教育	2 - 3	人権教育の推進
	2 - 4	自立と生きがいを育む障がい児教育の充実
	2 - 5	一人ひとりの学びを大切にする就学支援
	2 - 6	新しい時代に対応する教育の推進

基本目標2 学びを支える教育環境の整備

	3 - 1	研修体制の改善充実
学習環境	3 - 2	一人ひとりの夢を育む創意と工夫あふれる教育環境の充実
	3 - 3	安全・安心な教育施設の整備と防災教育

基本目標3 地域社会と連携した教育の推進

青少年 健全育成	4 - 1	青少年教育と明るい地域づくりの推進
家庭教育	5 - 1	家庭教育の充実
社会教育•	6 - 1	社会教育の振興と充実
	6 - 2	図書館機能の整備充実
文化芸術	6 - 3	文化芸術活動の推進と充実
スポーツ・レ	7 - 1	スポーツ・レクリエーション活動の振興
クリエーシ ョン・余暇	7-2	スポーツ・レクリエーション施設の充実

Ⅱ 教育委員会点検・評価の概要

1 点検・評価の目的

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図りながら、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表しております。これは、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としております。

2 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、第2次神栖市総合計画及び第2期神栖市教育振興基本計画 に基づく施策の主な取組を選定して実施いたしました。

令和3年度におきましては、69の施策のうち、15の施策を対象に事業内容等の点検・評価を実施いたしました。

3 点検・評価の結果

令和2年度に実施した施策の点検・評価の結果については、施策ごとに記載しております。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会による自己点検・自己評価について客観性を確保するため、教育に関する 学識経験者を含む5名の「神栖市教育委員会評価委員会委員」から、施策対象について ご意見をいただきました。

5 神栖市教育委員会評価委員会委員名簿

任期:令和2年4月1日~令和4年3月31日

職名	氏 名	備 考
委 員 長	大川俊一	主任登校支援教室相談員,元公立学校長
副委員長	池田明	元青少年センター運営協議会委員
委員	大槻 豊	学校教育指導員,元公立学校長 令和3年6月1日就任
委員	宮沢 好子	元茨城県幼児教育指導員,元幼稚園長
委員	坂尾 志津子	元認定こども園長

※敬称略

6 点検・評価の実施に関する主な経過

日程	内 容
令和3年 6月29日 8月19日 9月28日	令和3年度 第1回~第3回 神栖市教育委員会評価委員会議 ・点検評価の概要について説明 ・点検評価対象施策について説明, 質疑
令和3年11月24日	令和3年第11回教育委員会定例会 ・「令和3年度教育委員会点検・評価報告書(令和2年度 事業対象)」について報告
令和3年12月	令和3年第4回神栖市議会定例会 ・「令和3年度教育委員会点検・評価報告書(令和2年度 事業対象)」を提出

Ⅲ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していくうえで、重要な役割を担っています。

教育委員会制度の意義としては、①政治的中立性の確保、②継続性、安定性の確保、③地域住民の意向の反映の3つがあります。

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て、任命します。

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て、任命します。

教育委員会委員名簿

令和3年12月1日現在

秋日女只五女只有侍				1 127	17410年12月1日96年
	職	名		氏 名	任 期
教	育	;	長	新橋 成夫	令和2年3月23日~令和5年3月22日
教職	育務 代		長者	本間・敏夫	平成31年3月10日~令和5年3月9日
委			員	伊藤茂子	平成30年3月28日~令和4年3月27日
委			旦	安重 洋介	令和2年6月26日~令和6年6月25日
委			Ш	井上剛	平成30年12月26日~令和4年12月25日

2 教育委員会の活動状況

(1) 令和2年度教育委員会会議

教育委員会の会議には、定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて開催しています。

会議は原則公開で行い、審議結果については、市ホームページで公開しています。

教育委員会会議	開催回数	議案件数	報告件数
定例会	12回	90件	12件
臨時会	1 回	1件	0 件

(2) 会議・研修会等(令和2年度)

	4月6日	市内小中学校入学式 ※中止
	5月29日	令和2年度茨城県市町村教育委員会連合会定期総会 ※中止
	8月25日	令和2年度第1回総合教育会議
	9月	市内小中学校運動会・体育祭
令	10月	市内幼稚園及び小中学校訪問
和 2	10月6日	令和2年度茨城県市町村教育委員会研修会 ※中止
年	10月上旬~中旬	市内幼稚園及び小中学校運動会・体育祭
	11月上旬	市内幼稚園及び小中学校訪問
	11月13日	神栖市小中学校音楽発表会 ※中止
	11月28日	わたしの主張発表大会
	12月6日	小学校駅伝大会 ※中止
	1月10日	成人式典
令	2月28日	さわやかランニング大会 ※中止
和 3	3月11日	市内中学校卒業式
年	3月15日	教育委員会臨時会
	3月23日	市内小学校卒業式

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったもの。

上記のほかに、神栖市教育委員会会議(定例会)を毎月1回開催。

Ⅳ 主要事業の点検・評価結果

1ページに掲載した第2期神栖市教育振興基本計画における3つの基本目標,69の施策ごとに、今年度、点検・評価の対象となった施策を示します。

※重点施策

		6 9 の 施 策	評価対象
	1-1 幼児	見の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実	
	施策1	幼児の主体的な活動に配慮した教育環境の充実	O(P10)
	施策2	指導計画や指導方法の充実	
	施策3	障がい児や外国人等指導の充実	
	1-2 子青	育て支援を図る幼児教育相談の充実	
	施策4	誰もが安心して子育てができる幼児教育相談の充実	
	1-3 地	或や保護者に開かれた幼稚園経営の推進	
	施策5	開かれた幼稚園経営	O(P13)
	施策6	子育て支援体制の充実	
	施策7	認定こども園の推進	
	1-4 保証	育所(園)・幼稚園・小学校の連携の強化や接続の促進	
	※施策8	保・幼・小連携の強化や接続の促進	
	2-1 確7	かな学力を身に付ける教育の推進	
	※施策9	学習指導の充実	
生	※施策10	主体的な学習態度の育成	
生きる力と確かな学力	施策11	体験的学習活動の創造	
カ	2-2 豊才	かな心とたくましい身体を育む教育の推進	
と 確	※施策12	生徒指導体制の確立	
か	※施策13	相談機能の充実	
び 学	施策14	心の教育の充実	O(P15)
力	施策15	学校体育・健康教育の推進	
の育成	施策16	学校給食の充実	○ (P 1 6)
成	施策17	給食センターの充実	
	2-3 人村	権教育の推進	
	施策18	一貫した人権教育の促進	
	施策19	学習活動の推進	○ (P 1 7)
	施策20	指導体制の強化	
	施策21	男女平等の視点に立った教育の推進	
	2-4 自5	立と生きがいを育む障がい児教育の充実	
	施策22	就学前の特別支援教育の充実	
	施策23	適正な就学を図る教育支援の推進	
	施策24	個に応じた指導方法の工夫	○ (P 1 8)
	施策25	社会性や人間性を育む交流教育の推進	
	2-5 $-$	人ひとりの学びを大切にする就学支援	
	施策26	奨学金制度の充実	
	2-6 新	しい時代に対応する教育の推進	
	施策27	神栖市教育振興基本計画の総合的な推進	○ (P 2 0)

	施策28	教育委員会事業点検・評価の推進	O(P21)
	※施策29	情報教育の充実	$\bigcirc (121)$ $\bigcirc (P22)$
	施策30	国際理解教育の推進	
	施策30	情操・福祉教育の充実	
	·	同様・価値数目の元英 修体制の改善充実	
兴	施策32	研修体制の改善と充実	
学びを支える教育環境の整備	·	研修体制の以音と元美 人ひとりの夢を育む創意と工夫あふれる教育環境の充実	
を士			T
文え	施策33	学校の適正規模・適正配置の検討	
るが	※施策34	学校施設・設備・教材等の整備充実	
教育	※施策35	特色ある学校づくりの推進	
環	施策36	地域に根ざす開かれた学校づくりの推進	
境の	※施策37	教職員の資質の向上	
整		全・安心な教育施設の整備と防災教育	T
備	施策38	学校施設のバリアフリー化	
	施策39	地震・津波等に対応した防災教育の推進	
		少年教育と明るい地域づくりの推進	
	施策40	青少年健全育成体制の推進	
	施策41	子ども会活動の育成	O(P24)
	施策42	青少年の体験活動の充実	
	施策43	成人式典の開催	
	5-1 家原	庭教育の充実	
	※施策44	家庭教育の充実	
	※施策45	子育て講座事業	
	施策46	子育てサポーターの活用	
	施策47	PTA活動の支援	
地域社	6-1 社会	- 会教育の振興と充実	
社	施策48	社会教育の振興	
会	施策49	利便性の高い施設運営	
会と連携	※施策50	多様な学習機会の充実	
携	施策51	社会教育関連施設の活用促進	
した教育の推進	$6-2$ \boxtimes	- 書館機能の整備充実	
教	※施策52	図書館資料の収集と管理	
月の	施策53	学校図書館支援	O(P25)
推	施策54	市内全域での読書環境の向上	, ,
進	施策55	使いやすい運営と専門的なサービスの提供	O(P26)
	施策56	青少年に対するサービス	(1 2 0)
		化芸術活動の推進と充実	
	施策57	文化関連団体の支援・育成	
	施策58	文化活動指導者の確保・育成	
	施策59	芸術鑑賞や文化活動への参加促進	
	施策60	歴史民俗資料館の充実	
	施策60	芸術・文化施設の整備充実	O(P27)
	施策62	文化財学習の推進	
	施策63	文化財調査・保護活動の推進	O(P29)
	旭界03	人儿州明且 木受伯男 //	\cup (F Z 9)

7-1 スプ	ポーツ・レクリエーション活動の振興	
施策64	(公財)文化・スポーツ振興公社の効果的活用	
※施策65	スポーツの推進	
施策66	指導者の人材確保・育成	○ (P 3 1)
施策67	新たなスポーツの導入	
7-2 スプ	ポーツ・レクリエーション施設の充実	
施策68	施設の充実と利用促進	
施策69	学校体育施設の効果的な活用	

	施策1	幼児の主体的な活動に配慮した教育環境の充実	担当課	学務課	
施策概要	「遊び」	・「遊び」を通じて、幼児が主体的に活動できる教育環境を整備します。			
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成			
基本計画の位置づけ	施策の体系	1-1 幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実			

令和2年度の 目標・計画	目標:「遊び」を通して,幼児が主体的に活動できる教育環境の整備・充実を図る。計画:①幼児期にふさわしい「学び」を支えていくための体験が積み重ねられるような環境構成と教師の援助について各園ごとに研究する。 ②各園ごとの研究の成果を研究紀要にまとめ,研究発表会を開くことで,研究の成果を広める。
令和2年度の 実施状況	①『遊び』を通して、幼児が主体的に活動できる教育環境の整備・充実について、各園ごとに園内研修を実施し、教師の資質・能力を向上させ、保育の質の向上を図った。 ①茨城大学教授 茨城大学附属幼稚園長 神永直美先生を講師に招いて、実際の保育を見てもらい、アドバイスを受けた。 ②令和2年11月19日公開保育、研究発表会を実施し、「学びを支える援助と環境づくり」をテーマにした研究の成果を公表した。 ②茨城県国公立幼稚園・こども園130園に研究紀要を配付し、研究成果を広めた。 コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業
	・令和2年11月19日保育公開,研究発表会 茨城県国公立幼稚園・こども園130園への公開保育・研究発表会を予定していたが,縮小 して実施した。
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	・「新しい生活様式」を取り入れると共に教育研究の成果を活かし、幼児の主体的な活動に 配慮した教育環境の充実に向けて取り組み、保育の質を高めるようにしていく。

・コロナ禍の中ではあったが、発表会を開き、研究の成果を発信できたことは良かった。 ・研究の成果を広く発信できると良いと思う。 ・先生方の学びが、保育の質を高め幼児の成長に繋げられたことはとても評価できます。 ・今後、研究の成果が幼児の成長にどのように反映されているかを教師側・幼児側から検証し、確かな学びに繋がることを期待します。又、この成果を公表する事で広く市民の方々に知って頂くと共に、神栖市の幼児教育に携わる方々に生かされることを期待します。 ・目標と計画にそった事業を実施されてきているので、評価できます。 ・学校の先生方の研修や研究発表会は、教育の質を充実させる上で大切で、その努力は評価できます。ただ、本当に大切なのは、その努力の向こうに現れてくる子供たちの学びにあります。子供の成長にどう役立ったかを評価し、教育の向上に役立てて欲しいと思います。 ・実施状況を踏まえ質の高い保育を継続してほしい。

	施策1 纟	力児の主体的な活動に配慮した教育環境の充実	担当課	教育指導課
施策概要	・一人ひとりの個性を尊重しながら、社会性や協調性を培う幼児期にふさわしい学びの展開に努めます。			
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の位置づけ	施策の体系	1-1 幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実		

令和2年度の 目標・計画	る。	○整備を行うとともに,発達に応じた指導等,きめ細やかな指導・支援体制の充実を図 そをもつ保護者に対し,幼児の相談教室「おはなしひろば」と連携し,適切な教育支援
	を行う。	(是 6 字// 10)
	・職員の資質	(面上のため、大学教授等専門家による研修会を実施。
	・茨城県国公	公立幼稚園・こども園教育研究会指定教育課程研究発表会の実施
	・幼児の相談	《教室「おはなしひろば」による発達相談(利用者202人)
令和2年度の 実施状況	・言語聴覚士	による言語訓練(利用者95人)
		コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業
	・保育所(園	図)との保育参観交流
	・小学校との)交流(授業,行事等)
		S:目標が達成され,計画以上の施策の進捗が認められる。
コロナ禍での		A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。
影響も踏まえ	A	B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取知に対する努力が必要できる。
た令和2年度の取組に対す		取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず,施策の進捗がほとんど認められないため,
る自己評価		取組の改善が必要である。
		D:目標を全く達成できず,施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	保育所(園)	, 幼稚園と小学校の連携について研修を重ね, さらにスムーズな就学を進めていく。

ŗ		
Į		・幼児における環境整備はとても重要です。個に応じた取り組みがしやすいよう,今後も取り組ん
۱		でいただきたい。
۱		◆幼稚園・保育園と小学校の接続において「おはなし広場」の関わりは、とても重要です。今後も
۱		
۱		より充実が図れるよう,人的配置についても検討いただきたい。 (例:医師・心理師・発達障害に
۱		造形のある人等。)
۱		・研修会や発表会,相談会などの行事を計画通りにできたかが評価のポイントになっているが,計
١		画を実施できたかどうかで判断すると、教育が目指す本当の目的を見失ってしまう危険がありま
۱		す。大切なのは、その事業により子供の成長・幸せにつながったかです。
۱		- 教育の成果は、基本的に子供の成長で測定されるべきものです。子供の人間性の向上や学力向上
۱		
۱		につながったかが大事な評価のポイントで,施策の善し悪しもその点において評価されるべきだと
١		思います。実績を評価するにふさわしい点検シートになっているか再考の余地があると思います。
ı		実施状況の1つ目では「職員の資質向上」がどうだったかが大事な点で、研修会を実施したか否か
۱	評価委員から	が問題なのではありません。研修会が教員の資質向上に役立ったか、それを評価するには職員への
۱	のコメント	アンケートなどを活用することが考えられます。幼児の相談教室や言語聴覚士の言語訓練の項目で
۱		
۱		は、利用者の感想などを評価の材料にできるのではないかと思います。
ı		・実施状況から多方面にわたり成果があげられた点,評価できます。令和2年度縮小・中止になっ
ı		た事業の重要性を踏まえて次年度実施されることを期待します。
۱		・発達に応じた指導やきめ細やかな指導・支援体制のためには、まず教師の資質の向上が大切であ
۱		る。そのために幼稚園では県の研修(新採研・中堅研修等)や計画訪問と教師の資質向上につなが
١		
ı		る体制があるが,公立保育所では実践に応じた研修が多く,保育所のみを10年20年と経験して初め
ı		て幼稚園やこども園に異動した場合,すぐに幼稚園の教育を理解し実践していくのにはとても苦労
١		しているのが実情である。公立幼稚園・こども園・保育所が同じような質の高い保育実践ができる
1		よう偏らない異動が必要である。
1		
ı		・保・幼・小の連携,学びが継続出来ていないように見える。先生方の相互交流が必要だと思う。
١		

	施策1	幼児の主体的な活動に配慮した教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策概要 ・幼児がのびのびと主体的活動を育むことができる教育環境の整備・充実を図ります				
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の位置づけ	施策の体系	1-1 幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実		

令和2年度の 目標・計画	設備等保守点検の結果や幼稚園からの要望等に応じ、施設・設備・遊具等の修繕及び改修工事を実施し、幼児が安全安心に活動できる教育環境の整備を進めます。			
	施設改修う	ずも幼稚園:保育室壁紙張替		
		石神幼稚園:ブロック塀撤去及びフェンス設置		
	大	野原幼稚園:保育室床張替		
		須田幼稚園:廊下床改修,保育室及びホール床塗装,園舎屋根改修		
	設備改修 う	ずも幼稚園:自動火災報知設備更新,緊急通報システム送信機更新		
令和2年度の 実施状況		石神幼稚園:外部給水管補修		
夫 飑认优	大	野原幼稚園:防犯カメラ更新,給水ポンプ凍結防止ヒーター設置		
	各	幼 稚 園 : 消防設備改修, 水道蛇口ハンドル交換等		
	遊具改修	石神幼稚園:複合遊具改修,はんとう棒及び水平はしご更新		
	大	野原幼稚園:ブランコ改修, すべり台更新		
		コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業		
	・無			
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度		S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。		
の取組に対する自己評価		取組に対する労力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず,施策の進捗がほとんど認められないため, 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず,施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	• 「神栖市学	な幼稚園生活を過ごせるよう,適切な施設の維持管理を行います。 校施設等長寿命化計画」に基づき,施設等の整備を計画的に推進していきます。 からの給食提供に向け,令和3年度中に各幼稚園へ給食配膳室を整備します。		

	施策 5	開かれた幼稚園経営	担当課	学務課
施策概要		D園庭開放による親子の交流,保護者の交流の場を提供す ト部評価を導入し,今後も開かれた幼稚園経営を推進しま		に,評議員制度
教育振興 基本計画の	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
位置づけ	施策の体系	1-3 地域や保護者に開かれた幼稚園経営の推進		
			•	

令和2年度の 目標・計画	目標:幼稚園と保護者,地域住民と交流を図り,開かれた幼稚園経営を推進する。計画:①園だよりをホームページへ掲載し,情報発信をする。②コロナ禍の中での保護者への保育公開,親子行事を実施する。③学校評議員制度を活用する。 ④学校評価を活用する。
令和2年度の 実施状況	①神栖市のホームページに園だよりを毎月載せ、公開した。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止に気を付けながら、保護者への保育公開や親子行事を 実施した。 ③学校評議員制度を活用し、地域の方に保育を公開したり、園経営について話し合いをした りした。 ④保護者アンケート等を実施し、学校評価を活用した園経営の見直し、アンケート結果の公 表などを行った。
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業
	・園庭開放を中止した。
	・幼稚園地域公開を中止した。
	・PTA活動を縮小して実施した。
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら,家庭・地域と連携・協働し,開かれた幼稚園経営を推進していく。

評価委員から のコメント	 ・コロナ禍の中、保育公開等実施できたことは良かった。 ・学校評価を広く発信しても良いのではないか。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で実施出来るものと出来ないものを検証し、その中で実施方法に工夫をこらすなど評価出来る点が見られます。 ・開かれた幼稚園経営を行っていくためには、不可欠な学校評価の活用方法を市全体で検討し共通理解をもって邁進されることを期待します。 ・コロナ禍の中で思うような活動ができなくて苦労したことと思います。こうした中でも、工夫しながらできることを実施していかれることを望みます。

		施策5 開	かれた幼稚園経営	担当課	教育指導課
	施策概要)園庭開放による親子の交流,保護者の交流の場を提供す ・部評価を導入し,今後も開かれた幼稚園経営を推進しま		に,評議員制度
	教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の位置づけ		施策の体系	1-3 地域や保護者に開かれた幼稚園経営の推進		

令和2年度の 目標・計画	・開かれた幼稚園経営を目指して、今後も事業展開を推進するとともに関係機関との共通理解や連携強化を図る。				
	・学校評議員, PTA会長等による学校評価の実施				
	・学校評議員による保育参観				
令和2年度の					
実施状況	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業				
	・入園式、卒園式、運動会等の行事				
	・地域の方に向けた保育公開				
	・園庭開放				
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	まえ B:目標の一部が達成され,施策の進捗が少し認められるが, 再度 A 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず,施策の進捗がほとんど認められないため,				
今後の方針	令和2年度に実施できなかった行事や保育公開等,令和3年度は地域の方が参加できるよう工夫しながら実施していく。				

	・地域公開の重要性も認識し、取り組んでいただきたい。さらには、気兼ねなく保護者が相談でき
	る体制の構築もお願いしたい。
	■・目標に「開かれた幼稚園経営」とあるが,開かれた状態がどういうものなのか,幼稚園には共通
	認識があるのだろうかという疑問を持ちました。
	●・学校評議員会や学校評価の実施で満足できるというものでもないと思います。
	■・コロナの影響で, ずいぶん事業が中止・縮小せざるを得ず, ご苦労も多かったものと察します。
** *** ** * * * * * * * * * * * * * *	●・評議員制度の活用や外部評価を導入した事でのメリットやデメリットを各園・市全体で検証し今
評価委員から	K · MEMET (- TV C ONLY C WITH THE THE OCIENT C C C C MILO C)
のコメント	■・波崎こども園では,園庭開放だけでなく,未就園児が親子で遊べる保育室を提供している。身近
	に園の様子を感じたり、園の教育を理解したりと保護者にとっても園を選ぶ基準になったりしてい
	る。幼稚園では預かり保育など様々な事業を展開し、保護者のニーズに応じて取り組んでいること
	■を知ってもらうためにも,地域の方々にいつでも遊びに行ける場を設けることが,開かれた幼稚園
	経営に繋がっていくと思う。
	・保護者,市民に開かれた幼稚園経営を今後とも推進してほしい。

	施策概要 教育振興	施策14 心の教育の充実	担当課	教育指導課		
		・道徳教育の年間指導計画や全体計画を見直し、継続的で調和のとれた心の教育を進めます。 ・発達段階にふさわしい体験活動や交流活動を組み入れ、実感を伴った「心の育成」を目指します。				
I		基本目標 1 生きる力と確かな学力の育成				
l	基本計画の 位置づけ	施策の体系 2-2 豊かな心とたくましい身体を育む教育の推進				

令和2年度の 目標・計画	1 小中学校において教科道徳の実施にあたり、年間指導計画や全体計画を見直し、実施する。 2 新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、発達段階に適した体験活動や交流活動を進め る。		
	1 小中学校とも年間指導計画や全体計画を作成・点検・評価・見直しをした。		
令和2年度の	2 感染症対策を図りながら、できるところから体験活動や交流活動を進めた。		
実施状況	育てたい力を明確にし,体験活動や交流活動の目的の見直しを進めることができた。		
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業		
	・感染症対策の中で従来通りの体験活動や交流活動は実施できなかった。		
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	・年間35時間以上の教科道徳の完全実施。 ・育てたい力を明確にしながら行う体験活動や、交流活動に実感を伴う「心の教育」につな がる実践を進める。		

	・年間指導計画や全体計画の見直しにとどまらず、教職員の指導力向上に向けての取り組みを充実
	させていただきたい。
	▶「考え議論する道徳」の実践は、このコロナ禍では難しいところであると思うが、形を変えアプ
	ローチの仕方を工夫することも必要なのではないだろうか。
	・目標・計画に書かれていることや今後の方針にあることは,基本的に学校が行うものです。教育
	指導課は、各学校がそれらを達成できるようにするための施策を示すべきです。
	・体験活動,交流活動も単に実施するというものではなく,それが「心の教育」としての役割を果
	たしたかである。その評価には、教員や児童生徒へのアンケートや聞き取り等も参考にできると思
評価委員から	います。
のコメント	・育てたい力を明確にし、体験活動や交流活動の目的の見直しを進めることができたことで、今後
<i>*</i> >-> * 1	先生方の取り組みや指導に反映されることを期待します。
	・一人一人の育てたい力を明確にした体験や交流活動を行い心の教育につながる実践を進めてほし
	lν, o
	・自己評価は「B」であるが「A」が妥当と考える。 ※記載内容変更済み

	施策16	学校給食の充実	担当課	第一学校給食 共同調理場
施策概要	・給食を通して、正しい食習慣を向上させ、食事や栄養に関する基礎的な理解を深めます。 ・児童生徒の健やかな成長と健康の保持・増進を図るとともに、食の安全・安心を目標として、内 容の充実に努めます。			
教育振興 基本計画の 位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	2-2 豊かな心とたくましい身体を育む教育の推進		

令和2年度の 目標・計画	・安心安全な学校給食提供を通じて、食事・栄養などの食育に対する理解を深めてもらう。
令和2年度の 実施状況	・令和2年度から、「まるごとかみすの日」として、神栖市に関わる食材を集めた献立を提供して、食べることから地元の産業・食材を理解してもらう機会をもうけた。 (令和2年度は6月と11月に実施) ・また、月ごとの行事にちなんだ献立を作成し、季節感を育む取り組みを行っている。 ・世界及び日本各地の献立を提供し、様々な地方の文化への興味を抱くきっかけを提供。 コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業 ・小学6年生のバイキング給食が対面式ではなく、授業スタイルで静かに実施された。 ・
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	神栖市の食と産業を児童生徒に伝えながら、日本および世界の各地に興味を持って もらえるよう、「楽しい給食」の献立作成および提供に引き続き努めて参ります。

	施策19	学習活動の推進	担当課	教育指導課
施策概要	・県や関係機関と連携して、様々な創意工夫による効果的な啓発活動を推進します。 ・各教科、道徳科、総合的な学習の時間等における学習活動を通じて人権教育の充実を図り ます。			
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の 位置づけ	施策の体系	2-3 人権教育の推進		

令和2年度の 目標・計画	1 令和2年度人権教育市町村教育委員会訪問を通して、小中学校の人権教育全体計画、人権教育 推進計画を見直す機会とする。 2 人権教育実践状況報告書を見直し、各教科、道徳科、総合的な学習の時間等における人権教育 の充実を図る。
	1 小中学校22校の人権教育全体計画の作成・点検・評価・見直し 100%
	小中学校22校の人権教育推進計画の作成・点検・評価・見直し 100%
令和2年度の	令和2年11月11日(水)に令和2年度人権教育市町村教育委員会訪問を実施。
実施状況	校長会,副校長・教頭会で県や関係機関に関する情報提供。
	2 人権教育実践状況報告書22校の作成・点検・評価・見直し
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業
	・令和2年度人権教育市町村教育委員会訪問への小中学校教員の参加見送り
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	・市教育会の人権教育部会と連携し、様々な創意工夫による効果的な啓発活動を推進する。 ・計画訪問や要請訪問等を通して、情報提供を継続的に行う。

	・年間指導計画や全体計画の見直しにとどまらず、教職員の指導力向上に向けての取り組みを充実
	させていただきたい。
	・「人権感覚」は、教職員が常に持たなければならない資質と考える。教育委員会からの働きかけ
	を,常に行っていただきたい。
	・人権教育の推進と充実により、子供たちに正しい人権意識を育むことが本当の目標なのだと思い
	ますが,これを見ると文書の作成とその点検などに主眼が置かれています。これだけでは,人権教
	育を十分に進めることができるとは思えません。
	・先生たちの言葉遣いがよくないと言った指摘が時々あるが,人権に配慮した言葉遣いをテーマに
のコメント	研修会や学習会を実施するといった、課題に沿った施策が必要ではないでしょうか。
	・教育委員会、特に教育指導課は、何かを計画、実施することに主眼を置くのではなく、育てる、
	改善する,向上させるといった視点が大切ではないでしょうか。施策を通して得ようとしている教
	育的価値を明確に意識する必要があります。
	・実施状況1・2共に計画通り実施出来た点、評価できます。今後市教育会の人権教育部会と連携
	し、各学校の実態に添った取り組みを推進されることを期待します。
	・今後の方針のとおり、創意工夫して継続的に進めてほしい。

討,職員での共通理解をした。

②必要に応じて各関係機関との連携を図った。

	施策24	個に応じた指導方法の工夫	担当課	学務課
施策概要	・障がいる	や発達の状況に応じ,幼児や児童のニーズに合った指導を	*実施しま	· j• 。
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の位置づけ	施策の体系	2-4 自立と生きがいを育む障がい児教育の充実		
			-	
令和2年度の 目標・計画				
		気になる幼児について個別の指導計画を作成し, 継続的に 爰教育コーディネーターを中心とした園内委員会を実施し		

コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業

・鹿島特別支援学校への見学やおはなし広場主催の巡回相談など、回数が減ったり中止になったりした。

コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価

令和2年度の

実施状況

S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。

A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。

②保護者との信頼関係を構築し、よりよい支援方法について話し合いをした。

B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取出ないます。

取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。

D:目標を全く達成できず,施策の進捗が全く認められない。

今後の方針

・障がいを「個性」と捉え、保護者や専門機関の連携を密にし、保護者の思いに寄り添いながら支援を要する幼児のニーズに合った支援方法の充実を図っていく。

		・おはなし広場の関わりは、就学前の子ども達にとって、とても重要であると思う。
		・就学前の子どもの障害を、いち早く発見するためにも、一歳児健診等との連携を図っても良いの
		ではないか。
		・個に応じた指導計画のもと、指導方法を全職員で共通理解をはかり指導にあたっていることは、
		とても評価できます。
		・今後も保護者の声に耳を傾け、専門機関との連携のもと幼児一人一人が適切な指導を受け、より
		良い発達が促されることを期待します。
	委員から	・個別の指導計画により、幼児のニーズに応じた指導ができたことは評価できます。
のコ	メント	・園内会議等で支援の方法を検討し、共通理解の下にそれをしっかり実行している点が素晴らしい
		と思います。
		・幼稚園やこども園では子育てに無関心だったり、独りよがりの子育てをしたりしている保護者へ
		の対応で苦労していることと思います。園だけでは限界があるので、保護者の啓発に教育委員会や
		子育て支援課などが積極的に関わっている必要があると思います。
		・引き続き幼児のニーズに合った支援方法の充実を図ってほしい。

	施策概要	施策24	個に応じた指導方法の工夫	担当課	教育指導課
施第		・健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションの 6区分について、指導方法の工夫に努めます。			
	教育振興 基本計画の 位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
		施策の体系	2-4 自立と生きがいを育む障がい児教育の充実		

令和 2 年度の 目標・計画	1 幼児の相談教室「おはなしひろば」や児童発達支援事業所「つくしんぼ」「なのはな」等と連携し、多方面から保護者を支援する。 2 保・幼・小・中・高の各学校で連携し、スムーズな引き継ぎができるようにする。 3 教育支援調査員会や教育支援委員会を通して、適切な就学を図る。
令和2年度の 実施状況	1 鹿島特別支援学校への就学 84名 (小学部50名,中学部34名) 2 個別の教育支援計画や指導計画の作成率 ・在籍児童生徒 100% ・通常学級に在籍児童生徒 個別の教育支援計画作成率 68%,指導計画作成率 74% 3 個別の教育支援計画や指導計画の引き継ぎ ・保育園・幼稚園から小学校 100% ・小学校から中学校 100% ・中学校から高等学校 100%
	・鹿島特別支援学校の見学会等 ・特別支援教育に係る学校訪問指導等の研修会
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	令和2年度は、コロナ禍で中止になった研修があったが、令和3年度はできる限り実施方法を工夫 しながら活動していく方針である。

・学校における個人の資料は多岐にわたり、統合できると業務の改善にもつながると想像できる。 是非とも「要録」「通知表」「個別の指導計画」「個別の支援計画」「キャリアパスポート」等共 有できるものを統合し入力しやすく、誰が見てもわかりやすいシステムを作っていただきたい。 ・個別の支援だけではなく、保護者等にも援助できる視点も持ち続けていただきたい。 ・令和2年度の実績が数字で示されているが、これが「目標達成」と関係があるのでしょうか。 ・個別の支援計画や指導計画がきちんと作成され、引き継がれているのは立派です。 ・その子の可能性を見つけ出し伸ばしていくための大事な引き継ぎが100%とても評価できます。 又、引き続き個に応じたサポート体制や保護者への支援が充実することにより、適切な就学への道 が開かれることを期待します。 ・個別の教育指導計画作成率の向上を図るため各支援策を検討し、推進してほしい。

	施策27	神栖市教育振興基本計画の総合的な推進	担当課	教育総務課
施策概要		マ「豊かな人間性と 創造性を備えた 未来につなげるひとつ 進を図ります。	ゔくり」の	実現に向けて,教
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の位置づけ	施策の体系	2-6 新しい時代に対応する教育の推進		

令和2年度 の 目標・計画	基本テーマ「豊かな人間性と 創造性を備えた 未来につなげるひとづくり」の実現に向け、3つの基本目標の推進、実施、評価見直しを行いながら有効的な事業の運営に努める。					
	第2期神栖市教育振興基本計画に沿った事業の実施について毎年点検・評価を行い,新たな課題の提言や問題の指摘をいただき,方向性の確認や業務内容の改善を行うことで,計画の推進,実現を目指した。					
	第2期神栖市教育振興基本計画にかかる点検評価(69施策)					
令和2年度	<u>()は予定</u> 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度					
実施状況	件数 19 18 (15) (17)					
	評価 S 1 件, A18件 A15件, B2件					
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業					
	•無					
コロナ禍での影響も踏まえた色の取 2年度の取組に対する自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。					
今後の方針	令和4年度が第2期神栖市教育振興基本計画の最終年度となるため,現在の計画を推進しながら課題等の改善を行い,あわせて今後目指す教育像についても検討し,第3期教育振興基本計画の策定につなげていく。					

	- 人後の七句字りでは、1.人の単海も日みぶと、日牝む七台を検討してはし、
	・今後の方針通りで良いと思うが、社会の状況を見ながら、目指す方向を検討してほしい。 ・これまでの事業の点検状況をみると、ほぼ計画通りに進められており、関係者の意識の高 さを感じます。
評価委員か らのコメン	・第三期に向けての検証を今後充実させて欲しい。 ・今後の方針を踏まえ、最終年度見通しを持って進めることを期待します。
F	

	施策28	教育委員会事業点検・評価の推進	担当課	教育総務課
施策概要	・教育委員 します。	員会の事務事業について,毎年評価委員による点検・評価	うを行い,	その結果を公表
教育振興	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
基本計画の位置づけ	施策の体系	2-6 新しい時代に対応する教育の推進		

令和2年度の 目標・計画	第2期神栖市教育振興基本計画について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年行うこととなっている。 令和2年度の事業の点検・評価については18の施策について実施をし、その結果を公表する。
令和2年度の 実施状況	・第2期神栖市教育振興基本計画の69施策のうち18施策について下記のとおり教育委員会評価委員会議を開催し、点検・評価を実施し、公表を行った。 【令和2年度教育委員会評価委員会議】3回 第1回 令和2年6月25日 第2回 令和2年8月27日 第3回 令和2年9月29日 【令和2年第11回教育委員会定例会】 「令和2年度教育委員会点検・評価報告書(令和元年対象事業)」について報告。 【令和2年度教育委員会点検・評価報告書(令和元年対象事業)」を提出。
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業
	• 無
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	本計画の推進にあたり、コロナ禍の影響による事業の縮小又は中止となっているケースを評価にうまく反映できるような内容とすべきとの助言を受け、自己評価を判定する際にコロナの影響を除いた形で評価できるように改善する。

	施策概要	施策29	情報教育の充実	担当課	学務課
			こ配置されている教育用コンピュータは, 計画的に整備・ 最等の共有・交換が可能となるよう環境を整備します。	更新を行	らいます。
	教育振興の	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
2	基本計画の位置づけ	施策の体系	2-6 新しい時代に対応する教育の推進		

令和2年度の 目標・計画	・コンピュータ活用教育の充実を図るとともに、コンピュータ機器やインターネット等への接続に必要な施設・設備を整備し、児童生徒の情報教育に資する。		
令和2年度の 実施状況	 ・学習用端末の整備 8,400台 ・校内ネットワーク環境の整備 10校 ・各教室に大型提示装置の整備 201台 		
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業		
	• 無		
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	・校務用パソコンの老朽化に伴い約90台の機器更新 ・文部科学省が定める「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018年~2022年度)」の目標値を達成するため90台の大型提示装置購入 ・情報機器の増加に伴い、セキュリティの基準や対応を示すための内容を検討 ・情報機器の活用や更新等を推進していくための計画の内容の検討 ・令和3年度より学習者用端末の活用が本格的に進められていくため,より効果的に活用で きるよう新たな教育用ソフトウェアの検討		

	・コロナ禍の中、様々な改革が急ピッチで進められる中、学習用端末の整備等を行えたことは良
	かった。
	・公務用パソコンの選定には、スペック等の検討も十分に行ってもらいたい。
	・目標に向けて早期に計画的な実施が行われたことは、子どもの学びに繋がった良い取り組みだっ
	たと評価できます。
	・今後、益々情報教育の充実が期待される中、課題は山積です。目標・計画に基づいた適切な対応
	を期待します。
評価委員から	・情報機器の導入・整備には力を入れてよくやっておられると思います。大型ディスプレイやタブ
のコメント	レットの普及も急速に進んでいて頼もしく感じます。問題は,学校の教員にそれを使いこなすため
	の研修の機会や勉強の時間が少ないことです。
	・目標は達成できていることが分かりますが,それが実際の教育にどれだけ役立っているかを把握
	する必要があると思います。そのあたりを教員等から聞き取り、改善に役立てていただければと思
	います。そうした調査をすると課題も見えてくるし、さらによい環境整備につながるだろうと思い
	ます。
	・教育用コンピュータの環境整備を進めてほしい。
	・自己評価は「A」であるが「S」が妥当と考える。 ※記載内容変更済み
	4

	施策29 情報	数育の充実	担当課	教育指導課
施策概要	・コンピュータ教育指導員を各小学校に派遣し、教員の学習指導支援や児童のコンピュータ活用能力・プログラミング的思考の育成に努めます。 ・情報モラルの知識の理解を進めるとともに、適切な判断についての指導を充実させます。			
教育振興 基本計画の	基本目標 1 生	上きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系 2-6	新しい時代に対応する教育の推進		

	2年度の	1 プログラミング的思考を育成するために、専門家を招集して研修会を実施する。2 情報モラル教育を小・中学校で実施する。			
		1 専門家を招集し、プログラミング教育の研修会を3回実施した。 2 情報モラル教育に関する授業を市内小・中学校で100%実施した。			
	2年度の 施状況				
夫》	也(八)(兀	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業			
		・対面による研修は開けなかったが、オンライン研修を実施した。			
		・新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者参加の情報モラル講演会等は実施できなかった。			
影響でた今和の取締	ナ禍での も踏まえ 取2年度 狙に対 田 己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。			
今後	:の方針	・企業と連携したプログラミング教育の授業開発に努める。 ・令和3年度から,学校でのタブレットの活用が本格的に実施される。タブレット活用に伴う課題 を集約し,情報モラル教育を小・中学校で実施する。			

評価委員からのコメント	

	施策41	子ども会活動の育成	担当課	文化スポーツ課
施策概要	度を学べる す。 ・子ども会	異なる仲間との遊びや活動を通し、地域社会の一員として る場として、子ども会の必要性についての広報活動を行い 会活動に有用な情報の提供を行うなど運営支援を行うとと 子ども会活動の活性化を図ります。	,加入者	の向上に努めま
教育振興	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
基本計画の位置づけ	施策の体系	4-1 青少年教育と明るい地域づくりの推進		

令和2年度の 目標・計画	2年度の ①役員を担う保護者の負担軽減策を講じる。 ②地区の子ども会運営に関する情報の提供をし、子ども会活動の充実を図る。 ③市子連実施事業を見直し、ニーズに合う事業を模索する。			
令和2年度の 実施状況	①例年,指定日に子ども会役員が現金の手渡しで行っていた会費や保険料の徴収を振込に変更した。また,年度当初関連書類の手続きについても,窓口に加え,郵送での提出も可とした。 ②感染症対策をテーマとした指導者研修会の実施や年度末に次年度役員に向けて,コロナ禍でもできる活動事例集を配布した。また,新規会員獲得のために,会員募集のチラシを新1年生の保護者に配布した。 ③感染症対策を講じた上で,ウォークラリー大会を実施した。 コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業			
	・総会は書面決議にて実施した ・年2回実施のレクリエーション事業のうち、8月実施予定事業の中止 ・年度末開催の次年度役員説明会の中止			
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。			
今後の方針	・引き続き、役員の負担軽減策を講じる。 ・イベント情報等をSNSや市HP等を活用して提供していく。 ・レクリエーション事業や指導者研修会については、例年役員に対して実施しているアン ケート結果を考慮し、ニーズに合ったものを提供できるよう検討していく。			

評価委員からのコメント	・会費等の徴収を振り込みにしたのは良いと思う。 ・感染症対策を行ってのウォークラリーを実施したことは良かった。 ・子ども会は、流動的な組織であり、活性化や組織の改編等将来を見据えた取り組みが必要となる と思う。 ・コロナ禍での活動運営は大変だったと思います。お疲れ様でした。 ・子ども会の必要性や運営方法を考える時期に来ているように思います。私の経験では、子ども会 に入ると保護者にいろいろな負担が回ってくるため、加入したくないという保護者が増加傾向に あったように感じます。 ・実施状況から、現状をふまえて改善されている点、評価できます。今後はアンケート結果を生か した施策の検討を期待します。 ・毎年、役員に対して実施しているアンケート結果を公表し子ども会の活動育成・施策に講じてほ しい。

	施策53 学校図書館支援	担当課	中央図書館		
施策概要	・子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書館を支援します。				
教育振興	基本目標 3 地域社会と連携した教育の推進				
基本計画の 位置づけ	施策の体系 6-2 図書館機能の整備充実				
	子どもたちの読書活動推進のため、平成23年策定の「神栖市子ども読書活学校図書館支援センター(平成28年4月 中央図書館内に設置)により各学校等と連携し、学校図書館の運営や活用に対して支援する。				
令和2年度の 実施状況	■配本事業 学校図書館の1人当たり図書購入費は、茨城県平均より少ないため、市立図書館が補完するを目的 として学校へ団体貸出 (1)読み物用図書収集 (2)調べ学習用図書収集 ■小・中学校図書館の図書購入 (1)通常購入(22校分) (2)学校図書館図書標準を満たしていない中学校2校分 ■学校図書館への専門的支援 (1)市立図書館司書による定期巡回訪問 (2)市立図書館司書等派遣による環境整備支援 (3)学校図書館アドバイザー(司書教諭)による支援強化 ■図書館見学の受入、「小中学校のための市立図書館活用案内」作成等				
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業				
	実務研修会(学校図書館指導員等対象)				
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められA:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められ 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められ	んるが, ゛認められ	ないため,		
今後の方針	・「学校図書館図書標準(蔵書数)」未達成を早期に解決することは大きな的な図書購入予算の確保に努める。 ・市立図書館での学校図書館アドバイザーの配置により、学校図書館とのかつ迅速に行えるようになった。また、教育委員会各課と連携し、学校図な支援を行うことにより、コロナ禍での休館にもかかわらず順調に図書のもあることから、今後も継続的に学校図書館支援事業を実施する。)情報交換 図書館運営	, 助言等が的確 に対し, 計画的		

- ・学校図書標準を満たしていない中学校2校分の図書購入を早い時期に進めてほしい。又、時代に合った図書の購入を検討してほしい。さらには、学校での図書館活用の広報を進めては。
- 合った図書の購入を検討してほしい。さらには、学校での図書館活用の広報を進めては。 ・学校図書館への助言、支援を大幅に拡大させてきたことは素晴らしいです。学校図書館指導員の配置と中央図書館の支援により、学校図書館は10年前とは比べものにならないくらいに充実しました。学校図書館がただの本を置いてある場所から、入って見てみたくなる魅力的な場所に変わりました。
 - ・今,オンライン化が急速に進んでいるので,子ども達がオンラインで利用できる環境づくりをさらに広げて行かれることを期待します。

評価委員から のコメント

- ・貸出率が向上した学校の取り組みを,他校にも広げると良いと思う。
- ・学校との連携を向上させるためにも、学校図書館アドバイザーの増員を希望しても良いのではないかと考える。
- ・学童保育を手伝っているが、小学生の本離れを感じました。学習の時間でも辞書の活用を嫌がる子が多く、児童文学の本への興味をもつ子はほとんどいないのが現状です。子ども達の読書活動推進のためにもアドバイザーの支援強化は、とても重要だと思うので、アドバイザーの配置や学校への積極的な巡回に努めてほしいと思います。
- ・早期に課題を克服し、学校図書館図書標準が全小・中学校で満たされることを期待します。
- ・魅力ある学校図書館について、子ども達と話し合い、誰もが行ってみたくなるような場を共に作
- りあげていく図書館作りを心がけてください。

	施策概要	施策55	使いやすい運営と専門的なサービスの提供	担当課	中央図書館
			ニーズに対し,赤ちゃんから高齢者まで使いやすい図書館 青報収集に対し,専門的な支援を行うため,司書を配置し		
	教育振興	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	基本計画の位置づけ	施策の体系	6-2 図書館機能の整備充実		

令和2年度の 目標・計画	・利用者及び地域の求める質の高い図書館サービスを提供するための職員研修 ・様々な年齢層の方が利用しやすい環境づくりを努めるとともに、ニーズに即した行事を 行う。
令和2年度の 実施状況	新型コロナウイルス対策について、司書が中心となり継続可能なサービス(休館中の予約貸出等)の構築など、ミーティング(通常期月1回、コロナ休館中は週1回程度)を重ね、適切な運営に努めた。 【利用しやすい環境づくり】 赤ちゃんタイム・キッズタイム 76回 【様々な世代向け行事】 おはなし会・映画会等行事 54回 参加者数545人 【職員司書/会計年度司書の配置】中央図書館配置4/8人・カウンターおよびレファレンス等奉仕に関すること 3/3人・学校図書館支援(学校巡回や配本、図書購入および環境整備)に関すること 0.5/2人・行事や広報等に関すること 1/1人・資料収集に関すること 2/2人
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業
	・茨城県図書館協会等の研修会が中止となった
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され,計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され,施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され,施策の進捗が少し認められるが, 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず,施策の進捗がほとんど認められないため, 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず,施策の進捗が全く認められない。
今後の方針	・定期的に職員司書の採用を要望する。※2019年社会人枠採用 1人 ・県図書館協会など外部主催による専門的研修に積極的に参加するとともに、職場内研修 の充実を図りながら、司書等のスキルアップに努める。 ・図書館の利用促進のため、季節行事、児童・中高生向けのイベント等を継続的に実施す る。また夏休み期間には「読書感想文講座」を新規で開催する。

・図書館職員について司書職員の採用を引き続き要望してほしい。 ・「利用者や地域が求める質の高い図書館サービス」や「利用しやすい環境づくり」に努めると目標に書かれています。この点がどうだったか根拠を示し客観的に評価すべきだと思います。 ・様々な取り組みをしていて、良いと思う。他の自治体で行われている取り組みも参考に、さらなる充実を期待する。 ・神栖市立図書館のサイトを見て、利用者に対してきめ細やかなサービスの提供をしており、とてもサービスが充実していると感じました。特に赤ちゃんタイム・キッズタイムがあり、赤ちゃん連れの方々にも利用しやすく育児相談もできたりと市民の目線に立って様々なサービスを考えて提供している施設でとても関心しました。これからもお年寄りから赤ちゃんまで使いやすい図書館の運営をお願いします。 ・幅広い年齢層が求める図書館とは?実施状況やアンケートから考察し魅力ある図書館運営を期待します。

	施策61	芸術・文化施設の整備充実	担当課	中央公民館
施策概要	・公民館等す。	については、地域に根ざし、市民に親しまれる活動拠点となる	らよう,整	備充実に努めま
教育振興	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
基本計画の位置づけ	施策の体系	6-3 文化芸術活動の推進と充実		

令和2年度の	主な工事 中央公民館 矢田部公民館 ・エレベーター更新工事 ・図書室エアコン改修工事 ・防犯カメラ設置工事 ・消防設備複合盤改修工事			
目標・計画	・電気炉更新工事 はさき生涯学習センター 若松公民館 ・空調設備外改修工事 ・トップライト屋根防水工事 ・親子ふれあいホール床改修工事 ・カーリングタワー撤去工事			
	・税士ぶれめいホール床以修工事・クーリングダリー撤去工事主な工事等実施状況			
令和2年度の 実施状況	大田部公民館			
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業			
	・中止した事業 定期講座36講座 託児講座20講座 市民カレッジ2講座 ・人数,回数等縮小して実施した事業 定期講座79講座 市民カレッジ2講座 文化講演会2回			
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。			
今後の方針	神栖市公共施設等総合管理計画及び各施設の長寿命化計画に基づき、市民の社会教育の活動拠点となるよう,整備充実に努める。			

・市民の活動拠点として大変重要な施設で、整備充実を今後とも進めてほしいが、トイレ改修に当たり各男女トイレにおむつ交換台の設置をお願いしたい。利用者の要望は多いと思う。・定期講座等の中止はやむを得ず、評価の対象にはなりません。計画した整備事業は予定通り進んでいるので、ほぼ目標達成できていると言えます。・トイレ改修にかなりの額が使われていますが、こうした利用者の利便性向上に今後も努力を続けて欲しいと思います。・計画的な改修修繕ができていて良い。・利用者の声が反映できる取り組みをしてもらいたい。・赤ちゃんからお年寄りまで地域の方々が気軽に行ったり活用したりできるように常に安全な整備の充実に努めていただきたい。また、利用者の意見が聞けるような体制を作り、市民にとってどうかを考えて改善していってほしい。・公民館の果たす重要性を理解し、市民目線にたった工事等が行われることを期待します。又、今後に生かすために利用評価を行ってもらうことを勧めます。

	施策61	芸術・文化施設の整備充実	担当課	文化スポーツ課
施策概要	・文化センに努めます	/ターについては,引き続き指定管理者制度を活用し, け。	市民に親し	まれる施設運営
教育振興	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
基本計画の 位置づけ	施策の体系	6-3 文化芸術活動の推進と充実		

・指定管理者制度の利用により、施設の適正な管理を維持しつつ、住民サービスの向上を 令和2年度の 図っていく。 目標・計画 ・エレベーターの新設や老朽化した設備の改修を行い、安全かつ快適に施設を利用できるよ うにする。 ・国や県等からの指示を踏まえ、感染症対策を行った上で施設運営を行った。 ・文化センターホワイエに防犯カメラ及びエレベーターを新設した。 ・老朽化したトイレ及び電気室の改修工事を行った。 令和2年度の 実施状況 コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業 ・感染予防対策のため4~5月に文化センターを閉館した。再開後も利用定員の制限により、利用 者数に影響が出た。 ・指定管理者が実施する自主事業(歌謡コンサート等)が中止となった。 S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 コロナ禍での B:目標の一部が達成され,施策の進捗が少し認められるが, 影響も踏まえ た令和2年度 取組に対する努力が必要である。 Α の取組に対す C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 る自己評価 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。 ・昭和56年開館の文化センターは竣工から約40年が経過している。長寿命化計画を踏ま えた計画的な改修等により,施設の維持保全に務めていく。 今後の方針 ・指定管理者の指定期間が令和3年度末で満了することから、今後の管理を行う事業者の募 集・選定を行い、施設の運営管理を維持する。

・今後も指定管理者制度を有効に活用してもらいたい。 ・施設全体が老朽化している中,長寿命化計画を基に改修を進めていることは良いと思う。 ・コロナの影響により変更になった以外は、計画通りに進んでいるので良いと思います。 ・目標/計画に住民サービスの向上とありますが、その点は今後もよろしくお願いします。 ・コロナ禍の中で、計画通り工事が遂行された点、とても評価できます。今後も安心安全な魅力ある場であることを期待します。 ・市民の文化活動を把握して多くの方が参加する事業を展開して当市の文化活動を進めてほしい。

施策概要	施策63	文化財調査・保護活動の推進	担当課	文化スポーツ課
	・文化財保護の普及啓発を図るため、広報紙等により情報の発信を行います。 ・未指定文化財の調査を進め、必要に応じて指定の措置を講じるなど文化財保護に努めます。			
教育振興	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
基本計画の位置づけ	施策の体系	6-3 文化芸術活動の推進と充実		
			•	

・国指定重要文化財山本家住宅の経年劣化による茅葺き屋根の修理等を令和3年度、4年度 令和2年度の で行うため国庫補助要望申請を国、県に対して申請する。 目標・計画 ・市内約100箇所程度に設置されている文化財及び包蔵地等の案内板の現況調査を行い、 経年により文字等が薄れている箇所の修理を行う。 ・国庫補助要望申請については、国県へ申請をし、交付決定(令和3年6月1日)予定。 ・案内板については、令和2年度は計画的に6箇所を修理した。 ・田畑地区のささら舞をまとめた文化財かみす第23集を発行し学校等に配布した。 令和2年度の 実施状況 コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業 ・神栖市の文化財保護審議委員の正副会長が代表となり、鹿行5市の鹿行文化財保護連絡協議会を 組織し、講演会等を開催しているが、中止となった。 ・令和元年度延期された祭頭祭(溝口地区)が規模を縮小し鹿島神宮内において開催されました。 S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 コロナ禍での B:目標の一部が達成され,施策の進捗が少し認められるが, 影響も踏まえ 取組に対する努力が必要である。 た令和2年度 Α の取組に対す C:目標がほとんど達成できず,施策の進捗がほとんど認められないため, る自己評価 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず,施策の進捗が全く認められない。 ・案内板等については、市内を訪れた人がSNS等に投稿にするため、継続的に現地を確認 をし、計画的に修理していく。 今後の方針 ・市内には屋内に囲うことの出来ない波崎地区の大タブやウチワサボテンなどが有り、適正 に清掃等の環境整備をしていく。

	ナ中のナル中の年業)とのシャル・シとよっておけるい際シューシュ
評価委員から のコメント	

神栖市教育委員会点検評価シート 令和 2 年度実施分

	施策63 文化財訓	間査・保護活動の推進	担当課	歴史民俗資料館	
施策概要	・文化財保護の普及啓発を図るため、広報紙等により情報の発信を行います。				
教育振興 基本計画の 位置づけ	基本目標 3 地域社	会と連携した教育の推進			
	施策の体系 6-3 文化	芸術活動の推進と充実			
令和2年度の 目標・計画	・地域の歴史の流れを裏づける歴史資料である古文書の解読・発刊を行う。・市民の埋蔵文化財に対する理解を深めるため、茨城県教育財団による埋蔵文化財発掘調査の遺跡紹介展を開催(共催)する。・常設展示において市の指定文化財及び地域の特色を示す民俗文化財の活用を行う。				
令和2年度の 実施状況	・令和3年3月「神栖市近世史料集第一集 人見家文書一」解読した古文書の一部を抜粋し、編集・発刊・配布を行った。 ・令和3年2月9日~2月28日「発掘!!いばらきー茨城県教育財団調査遺跡紹介展ー」公益財団法人茨城県教育財団との共催により展示を行った。来館者639人。・埋蔵文化財の展示内容を変更するなど、常設展示の充実を図った。 ・新型コロナ対策として、来館者の動線を工夫するなど適切な運営に努めた。 コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業				
	・市外歴史見学を中止した。 ・市内歴史見学を中止した。 ・「発掘!!いばらきー茨城県教育財団調査遺跡紹介展ー」の開催期間が短縮した。				
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。			 いないため,	
今後の方針	・地域の文献資料である古文書の解読・発刊を継続するとともに、次世代にむけた活用を図る。 ・市内の遺跡などを活用した歴史見学を行い、文化財に対する理解を深める。 ・市の指定文化財及び地域の特色を示す民俗文化財の普及啓発を行う。				

・「神栖市近代資料集第一集 人見家文書一」は、見やすくまとめられていた。多くの所に配布しても良いのではないか。・小学生で、地域の歴史を学習するので、小さい子向けの資料があると、調べ学習にも役立つと思う。・地域の歴史資料や文化財の研究や発掘、広報活動はとても大事なことと思います。・「人見家文書」の発刊は意義が大きいと思います。古文書解読等の調査は、郷土の歴史や文化を知る上で大事です。今後も続けてください。・今後の方針にあるとおり、普及啓発活動や学習機会の提供を積極的に進めてください。・目標・計画達成のために今何が出来るかを的確に捉え、実践していることはとても評価できます。・実施状況から今後は、次世代に向けた発信力がとわれると思います。魅力ある施策に期待します。・神栖市にも埋蔵文化財があることを知り、もっと市民の方々にも知ってもらい、神栖市の歴史に関心をもってもらいたいと思いました。そのためにも、歴史見学だけでなく市のホームページにも掲載して気軽に見られるようにしてほしい。

施策概要	施策66	指導者の人材確保・育成	担当課	文化スポーツ課
		ミュニティ活動や競技力の向上に欠かすことのできない指 会への参加支援等を通して,人材の確保と育成に努めます		かては,指導者
教育振興 基本計画の 位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	7-1 スポーツ・レクリエーション活動の振興		

令和2年度の 目標・計画	神栖市体育協会及びスポーツ少年団の指導者の増加を目指す。		
令和2年度の 実施状況	神栖市体育協会及びスポーツ少年団の指導者数 前年度より増加 (令和元年度 419人 → 令和2年度 481人)		
	コロナ禍の影響により縮小・中止となった事業		
	指導者養成講習会の開催が中止		
コロナ禍での 影響も踏まえ た令和2年度 の取組に対す る自己評価	S:目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A:目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B:目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、 取組に対する努力が必要である。 C:目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、 取組の改善が必要である。 D:目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	引き続き,市民のスポーツ活動を推進するため,スポーツ指導者の確保,育成のため指導 者養成講習会の開催等をスポーツ団体へ働きかけていく。		

評価委員からのコメント	ツへの関心が高まっている今だからこそ,市民がどのようなスポーツに興味・関心をもっているかを知り,指導者育成に役立たせるよい機会だと思います。
	いるかを知り,指導者育成に役立たせるよい機会だと思います。 ・地域コミュニティ活動の競技力の向上を図るために施設整備や環境を整える必要があるの
	では。



神栖市教育委員会事務局

〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991 番地 5 TEL 0299-77-7122(教育総務課) FAX 0299-77-7703